

コーポレートサイトに新コンテンツが登場
ポテトサラダに使用する「じゃがいも」の
持続可能な生産への取り組みと、
生産者のこだわりを伝えるインタビューページを公開

デリア食品株式会社

サラダ・惣菜を製造・販売するデリア食品株式会社（本社：東京都調布市、代表取締役社長：竹中 成人、以下デリア食品）は、2026 年 9 月 30 日（水）より、コーポレートサイトの新コンテンツ「[持続可能なじゃがいも生産](#)」と生産者のインタビューページ「[ポテトサラダを支えるパートナーとの取り組み](#)」を公開します。



インタビュートップページ

◆生産者とともに挑む「持続可能なじゃがいも生産」

現在、日本のじゃがいも生産は地球温暖化や農家減少、病害虫の被害といった厳しい環境に直面しています。デリア食品は、安全・安心でおいしいポテトサラダを届け続けるため、生産者の皆様と一体となった取り組みを進めています。

具体的には、土壌に悪影響を与える病害虫（ジャガイモシストセンチュウなど）への対策として、病気に強い「抵抗性品種」の普及を推進しています。さらに、北海道・北見地区で導入が進む新品種「ゆめいころ」の普及にも注力しています。気候変動に左右されずポテトサラダを安定してお届けできるよう、地域の特性に合わせた作付けと貯蔵技術を組み合わせた「品種リレー」を行い、未来へ続く持続可能なじゃがいもの生産体制を構築しています。



じゃがいも畑に咲く「ゆめいころ」の花

News Release

◆生産者の想いを届ける！インタビュー記事

「ポテトサラダを支えるパートナーとの取り組み」ページでは、生産者の皆様のじゃがいもに対するこだわりや想い、デリア食品との関係性についてより深く知っていただけるよう、写真を交えながらインタビュー形式で紹介します。

初回は北海道のじゃがいも生産者3名のインタビューです。今後もポテトサラダを支える生産者にスポットを当て、インタビュー記事を充実させてまいります。

【インタビュー登場者】



黒河 潤さん

きたみらい農業協同組合「きたみらい馬鈴薯振興会」会長／北海道・北見地区

テーマ：

いつもの食卓に、新しいじゃがいもを。
産地一体で挑む「ゆめいころ」普及への歩み



高木 真一さん

北海道・女満別地区

テーマ：

産地の苦労と情熱を分かち合う。
デリア食品とじゃがいも農家が二人三脚で届ける
おいしさ



石原 新太郎さん

北海道・女満別地区

テーマ：

じゃがいもと共に100年歩んだ生産者が抱く
「持続的な産地形成」への想い

【新コンテンツ概要】

公開日：2026年9月30日（水）

ページ URL：

- ・ [持続可能なじゃがいも生産](#)
- ・ [ポテトサラダを支えるパートナーとの取り組み](#)

■デリア食品株式会社について

1975年設立のキューピーグループの惣菜会社。社名はスペイン語の「毎日」を意味する「diaria」に由来します。全国6つのエリアに製造・販売拠点を持ち、スーパーマーケットやコンビニエンスストア等へサラダや惣菜を毎日お届けしています。（コーポレートサイト URL：<https://www.deria-foods.co.jp/>）